

四八

区分	☒ 新規 ☐ 再提案 （ ・ ・ 第 回総会； 市）		
種類	☒ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）		分野 ☒ 危機管理建設
要望先	☒ 国	担当省庁	国土交通省
	☐ 県	担当部局課室	環境部水道・生活排水課
	☐ その他	名 称	
件名	上下水道施設の老朽化対策や地震対策に対する支援の拡充について		
提案市	長野市		
提案要旨	上下水道の管路の更新・耐震化に係る国の補助制度は、基幹管路が中心となっており、各家庭での水道水の利用において必要な末端の配水支管（配水本管から分岐し各家庭へ供給する管）及び汚水管（口径300mm未満の管）の更新・耐震化事業については、そのほとんどが補助対象外となっている。 末端の配水支管、汚水管についても、重要給水施設への接続だけではなく、各家庭への管路においても補助対象となるよう、制度の拡充と補助採択要件の緩和を要望する。		
提案理由	市民生活に最も近く上下水道管路の大半を占める末端の配水支管及び汚水管のほとんどが、更新・耐震化事業に係る国の補助対象外となっている。 これらの管路の更新や耐震化が進まないことは、漏水や災害時の機能不全を招き、地域住民の生活基盤を脅かす重大な課題であり、早急な対応が求められている。 しかし、事業量が膨大であるため、現行の料金設定の見直しを行い、健全な経営に努めたとしても、更新事業費を確保することは極めて困難であり、負担を将来世代に先送りしないよう、国に支援の拡充を要望するもの。		
現状及び課題等	本市では、広範な中山間地を有し、集落が点在する特有の地理的条件により、管路延長が長いことから更新需要が年々増加している。 本市における本要望の対象である管路の状況は、配水支管は、水道管全体の約85%の2,120kmであり、老朽化率は31.5%、耐震化率は12.1%となっている。 また、口径300mm未満の汚水管は、汚水管全体の約92%の2,194kmであり、老朽化率は3.7%、耐震化率は34.5%となっている。 各家庭への老朽管の更新が進まない状況が続けば、将来的に大規模な更新が必要となり、財政負担が一層増加することを懸念している。		
関係法令			